

# 第7次 安井地区福祉計画

西宮市社会福祉協議会 安井分区 (平成22年度～26年度、5カ年)

## 福祉目標

明るく楽しい 社協の輪

## 活動項目

1. 住民の福祉意識を高める取り組み
2. 孤立、孤独、排除のない地域にするための取り組み
3. 緊急時における情報収集及び支援活動に向けての取り組み

## 具体的活動

1. 住民の福祉意識を高める取り組み
  - ・広報活動の充実、情報収集力の強化 (市民館等への意見箱の設置)
  - ・声かけ運動の実施検討
  - ・人材の育成・確保への取り組み (福祉学習の取り入れ)
  - ・住民、ボランティアへの福祉講座・研修会の実施
2. 孤立、孤独、排除のない地域にするための取り組み
  - ・障がいのある人との交流事業への取り組み (重点事業)  
(新たな部会の設置による活動展開、福祉学習の取り入れ)
  - ・「つどい場」としてのふれあい・いきいきサロンの拡充  
(実施回数の増、時間の延長、内容の充実)
  - ・子育てサロンの拡充  
(専門職による育児相談の実施、子どもを預かって親だけの仲間づくり・情報交換会として子育て井戸端会議の実施)
  - ・見守り活動の強化、地区ネットワーク会議の開催 (重点事業)
  - ・各事業の継続・充実
  - ・組織の充実
3. 緊急時における情報収集及び支援活動に向けての取り組み
  - ・地区ボランティアセンターの機能強化 (重点事業)  
(情報集積・発信機能の充実、災害時の拠点としての機能の拡充、電話訪問の充実)
  - ・各地域団体とのネットワークづくり



その1

## 地域の現状は！

- ・マンションや単身者住宅の建設により、若年者世帯・単身者世帯・高齢世帯が増加してきている。
- ・住民の地域活動への関心が低くなってきている。
- ・近所づきあいが希薄化してきているように思う。
- ・福祉ニーズが多様化してきている。
- ・福祉活動もこれまで通りでいいのか課題を突きつけられている状況である。

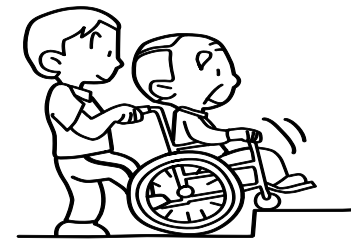
## 活動上での課題

- ・分区の福祉活動が地域住民に充分理解されているか。
- ・情報チャンネルが少ない高齢者へのPRが必要である。
- ・分区の地域福祉活動が福祉ニーズにこたえられているか。また、地区VCで新たな福祉ニーズを充分に捉えているか。
- ・福祉活動に携わる人の高齢化と多忙化が進んでいる。
- ・ボランティアの確保が必ずしも充分でない。
- ・将来に向けての人材の確保に不安を感じる。
- ・障がいのある人への活動が進められていない。
- ・子どもを対象とした学習が不十分である。
- ・小中学校、子ども会、青愛協などと協力し合った福祉学習の場が必要である。
- ・趣向を凝らした事業実施を考え参加者を増やしたい。
- ・各地域団体間のネットワークが進んでいない。

## 今後の取り組みは！

- ・近隣とのつきあい・ふれあいのあるまちづくりを進める。
- ・各地域団体と情報の共有し協力し合いネットワーク化を図ることが必要である。
- ・地域での協議の場づくり (情報交換・共有の場) に向けて働きかけていきたい。また、孤立、孤独のない地域づくりを進めたい。
- ・分区活動が地域住民へ周知・理解されるよう広報の充実が必要である。
- ・団塊の世代や子育てを終えた人などが、これまでの知識経験を生かして、地域で活躍していけるような受入体制づくりが必要である。
- ・地域内で特技をもつ人をサロンや食事サービスに招き、共に楽しむような趣向を考えていきたい。

## 具体的活動と重点事業



その2

### 6 部会活動・全体活動の継続・充

<p style="text-align: center;"><b>援助部会</b></p> <p>食事サービス「やすらぎ会」の実施 一人暮らしの高齢者や高齢世帯等を対象にボランティアの方々による昼食会を実施し、仲間づくりや案内による見守り訪問活動を進めます。 11月は、70歳以上の方対象に「食事交流会」 第1水曜日 安井市民館・中市民館</p>	<p style="text-align: center;"><b>いきいきサロン部会</b></p> <p>いきいきサロンの実施（拡充） 地域住民の「つどえる場」として、内容の充実、交流・仲間作りを進めます。年11回と30分の時間延長（1:30～3:30）により拡充します。 （参加者アンケートの実施、案内の充実） 第3水曜日 安井市民館・中市民館</p>	<p style="text-align: center;"><b>子育て支援部会</b></p> <p>子育てひろば「みんなで遊ぼう」の実施（拡充） 子育て中の親と子ども（未就園児）が、気軽につどえ、仲間づくりの場として、地域で子育てをサポートしていきます。また、専門職による育児相談、子育て井戸端会議の実施を進めます。 第2金曜日 安井市民館</p>	<p style="text-align: center;"><b>広報部会</b></p> <p>広報誌「ほのぼの安井」の発行（拡充） 地域の情報紙として、年3回発行します。また、分区活動の報告・案内を取り入れ活動のPRを進めます。 市民館等への意見箱の設置により、幅広い住民の意見を反映するため情報収集に努めます。</p>
<p style="text-align: center;"><b>なでしこ会</b></p> <p>デイサービスセンターへの支援 安井デイサービスセンターに通う人たちに日々での話し相手やイベントでの支援を行い、地域で要支援者のサポートを進めます。 毎週月～土曜日 安井デイサービスセンター</p>	<p style="text-align: center;"><b>地区ボランティアセンター部会</b></p> <p>地区ボランティアセンターの開設（重点事業） 住民相互の助け合いの拠点、身近な相談窓口の拠点として機能の強化を図ります。また、電話訪問の充実を図ります。 毎週金曜日 安井市民館</p>	<p style="text-align: center;"><b>募金活動・会員会費制度の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本赤十字社社員増強運動（5月）</li> <li>・共同募金運動（10月）</li> <li>・歳末たすけあい運動（12月）</li> <li>・社協会員会費制度の推進</li> </ul> <p>各自治会の協力を得て、啓発に取り組みます。また、財源の確保に努めます。</p>	<p style="text-align: center;"><b>敬老のつどい</b></p> <p>70歳以上の高齢者を対象に、長寿のお祝いと交流の場として、敬老のつどいを開催します。 10月 安井市民館・中市民館</p>
<p style="text-align: center;"><b>住民講座・ボランティア研修会等の実施</b></p> <p>福祉意識の醸成や人材育成を目指し、住民への福祉講座やボランティア研修会等を開催します。</p>			

### 重点事業（年次計画）

事業名	事業内容	平成 22～23 年度	平成 24～25 年度	平成 26 年度～
障がいのある人との交流事業への取り組み	福祉学習を取り入れ、障がいのある人への理解を深めるための「学び」や障がいのある人と住民が交流できる場を当事者と共に進めていくなど、新たに部会を設置し検討を進めていきます。	部会の設置 学習会の開催 当事者との企画	交流事業の実施	継続
地区ネットワーク会議の開催（見守り活動の強化）	高齢者（見守り）地区ネットワーク会議を開催します。 地域のネットワークで生活課題を早期発見し、課題解決に向けて話し合う場として取り組み、見守り活動を強化していきます。	準備 他団体への働きかけ	実施	継続
地区ボランティアセンターの機能強化	①身近な相談窓口としての住民への周知、V派遣による生活支援、コーディネート機能を強化していきます。また、要援護者の情報集積を行い、受け止める場としての機能を高めます。 ・地域のニーズを掘り起こし、情報集積・発信の機能強化 ・コーディネーター及びボランティア養成及び研修会の開催 ②災害時の拠点として機能できるよう他団体との連携により検討を進めます。 ③各分区事業に参加できなくなった人への電話訪問での見守り活動の実施を検討する。	①住民へ周知 集積機能の仕組みを検討 研修会等の開催 ②地域団体との協議 ③見直し、集約・仕組みの検討→ 実施	①仕組みによる支援充実 ②マニュアルづくり検討 ③継続	①継続 ②機能 ③継続